

特別③「石川さんを囲むBBQ」8月17日 参加者感想

①城南高校1年 OK

石川さんを囲むBBQを終えて、知らないことだらけだと再確認しました。前で発表したとき、大人のみなさんが高校生の声に耳を傾けてくれて、とても嬉しかったです。リーベフラウに初めて来たんですが、自然豊かで、とても暑かったです。お肉もアイスもとても美味しかったです。話の内容も鮮明に覚えていて、石川さんが必死に話している姿は、とても格好良かったです。楽しいBBQでありながら深く考えさせられるような場でした。最初に涙ながらに話されていた石川さんは言葉は震えていましたが、その一言一言に強い感情が含まれていました。どの話もハキハキとしっかり伝えられていて、狭山事件にとっても疑問や怒りを覚えました。ありもしない罪を政府がなすりつけ、いまだに有罪扱い。僕ならもう諦めそうですが、石川さんや石川さんの友人、家族、協力者が一丸となって戦っている姿に尊敬します。僕も協力者の一部になるように、まずはあまり理解ができていない狭山事件について学びたいと思いました。次は有罪じゃなく、無罪を勝ち取ったBBQにしたいです。

②城南高校1年 OA

狭山事件について勉強した2年前からずっと石川夫妻といつかお会いしたいと思っていました。そして今回ついに早智子さんとお会いすることができました。一雄さんと会えなかったのが本当に残念ですが、一雄さんの思いは早智子さんをはじめ、様々な人に伝わっているのだと感じました。追悼式に行ったときも思いましたが、一見自分とは関係のない遠い地で起こった昔の話でもよく勉強すると「徳島」というつながりがあり、今もずっと一雄さんの無実を訴え続ける人々の姿を見ると、決して他人事ではないのだと実感しました。一雄さんの見えない手錠を外すためにも、部落差別の根絶のためにも、私たちはこの事件を語り継ぐ必要があると思いました。BBQ美味しかったです。ありがとうございました。

③徳島北高校1年 FA

私は今回この会に参加して、初めて石川早智子さんにお会いしました。早智子さんがお話をされていたとき、一雄さんが書いていた短歌があることを知りました。短歌はいくつかあり、その一つ一つに熱がこもっていて、ずっと差別と闘い続けてきた一雄さんの悔しさが伝わってきました。だから今までよりも、もっと一雄さんや早智子さんの思いを受け止めて、良い方向に持って行きたいと強く思うようになりました。また、最初はなぜこの事件を学ぶのだろうと思っていましたが、部落差別のことを学んでいくうえで、狭山事件を学ぶ意味を見出すことができました。一雄さんは亡くなってしまいましたが、これからは早智子さんや今回参加していた人たちと一緒に、世の中の人々の差別に対する意識を良い方に変えていきたいです。

ここからは余談なのですが、7月に豊島の産廃問題を学んだときに、祖父のことを思い出しました。(豊島に行っていたときは入院していた祖父ですが、今月の13日に86歳で亡くなりました。)祖父は昔、東亜合成という会社に勤めていて、徳島工場の工場長をしていました。そのときに公害と向き合ってきたそうです。平成初期に工場長をしていて、その時期が一番大変だったと祖母から聞きました。新聞社から公開質問状が来たこともあったそうです。この質問状はまだしっかり読み込めていないので、しっかり読んで自分なりに考えたいと思います。

④徳島商業高校2年 NM

私は石川早智子さんを囲むBBQに参加しました。今回初めて石川早智子さんに会えてお話ができて、とてもうれしかったです。自分はこの事件について、ここのこども塾に来るまで知りませんでした。名前は聞いたことがあるかな～というくらいにしか知識がなかったのです。そんな中、このことについて学習していく環境で詳しく知っていく中、この事件は間違っていることが多いのと、おかしいところが多いと気づいていきました。それはこ

の狭山事件だけではなく、他の冤罪事件もそうだと思います。私たちが正しい情報を知って、真相を知って、間違った考えをしているいる人たちに、“それは違う”ときっぱりと言えるようにならなくては行けないと、このことを学習するときに毎回思います。私はまだまだこの事件についても、他の冤罪事件についてもそうですし、人権問題もほんの一部分しか知れていません。知らずに後悔はもうしたくないので、もっともっとたくさんのことを学んで、狭山のことも他のこともきちんとした情報を教えられる立場になりたいと思います。早智子さんにお会いして、改めてそう思わせてくれた気がします。勉強よりも大切なことだと思います。